

(社)日本家政学会 平成 21 年度第 5 回(通算 435 回)理事会議事抄録

日時：平成 22 年 1 月 9 日(土) 13:30～17:50

場所：日本家政学会会議室

出席者：畠江会長、今井副会長、大竹副会長、久保田副会長、天野、今井(悦)、香西、佐々井、宮野各理事、石黒、石井、小川、小野木、平田、鳥飼各支部長理事、高部監事

欠席者：中島理事

【審議事項】

1. 入会申込者の承認について

今井副会長より、資料に基づき説明があり、11/14～1/9の入会申込者 16 名と、賛助会員 2 団体の入会が満場一致で承認された。

2. 次期役員候補者等の選出について

畠江委員長より、資料に基づき各支部選出の支部長・理事候補者被選挙人・代議員候補者、および監事候補者被選挙人の説明があり、満場一致で承認された。

3. (社)日本家政学会賞候補者選考結果について

大竹学会賞選考委員長より、学会賞は沖田富美子氏及び渡辺紀子氏、奨励賞は貴志倫子氏及び牧野唯氏を候補者として選出したとの説明があった。投票の結果、4 氏が学会賞または奨励賞受賞者として満場一致で承認された。

4. (社)日本家政学会賞(功労賞)推薦結果について

大竹功労賞推薦委員長より、伊藤セツ氏、田村咲江氏を候補者として推薦するとの説明があった。満場一致で両氏を功労賞受賞者とすることが承認された。

5. 第 62 回大会(広島大)について

平田支部長理事より、問題なく準備が進んでいるとの報告があった。なお、総会は新法人化に向けての議題があるので、総会と学会賞授与式が 1 時間では終わらない可能性がある。延びた場合は、代議員であるポスター発表者は遅れる旨の掲示を実施本部のほうで行うこととなった。

6. 第 61 回大会(武庫川女大)の決算報告について

小野木支部長理事より、資料に基づき第 61 回大会の決算報告があり、満場一致で承認された。今後、補助金は適切な支出であれば返金を義務としない、ただし、返金できるように努力してもらい、余剰金が出たら返金してもらうこととする。

7. 新法人制度への対応について

(1) 今井副会長より、資料に基づき、12/21 開催のコアスタッフ会議で検討された定款案、部会運営規程案、支部運営規程案の説明があった。畠江会長より、2 月内閣府認定等委員会事務局に行った後、定款案を HP に掲載して意見を募集するとの提案があり、満場一致で承認された。学会誌 2 月号にそれらのことをアナウンスすることとなった。

(2) 今井(悦)理事より、本部役員選挙に関わる支部選挙細則案について、資料に基づき説明があった。

8. 平成 22 年度通常総会の議案について

今井副会長より、資料に基づき平成 22 年度通常総会の議題の説明があった。今井(悦)理事より、支部、委員会、部会は 2 月末までに平成 21 年度の事業報告及び平成 22 年度の事業計画を提出していただきたいとの依頼があった。

9. 平成 22 年度予算について

久保田副会長より、2 平成 2 年度予算および平成 21 年度決算に関する確認事項及び依頼について説明があった。

・平成 22 年度支部経費は 40 万+250 円×会員数。なお会員数は、1 月の理事会で承認された会員数(12 月末)とする。

・各支部、部会の決・予算の提出は、予算は 3/20 まで、決算は第一決算を 3/20、最終決算を 4/10 とする。

10. その他

(1) 家政学恒常活動基金に関する規定の変更について

久保田副会長より、資料に基づき、「(社)日本家政学会における家政学恒常諸活動基金に関する規定」の変更が提案され、満場一致で承認された。

(2) 化学熱力学学会からの団体紹介パネルの案内

畠江会長より、資料に基づき、化学熱力学国際会議における団体紹介パネルの案内について説明があった。企画委員会で検討することとなった。

(3) 平成 22 年度のサイエンスカフェのスケジュールについて

平成 22 年度は 2～3 回実施する。具体的計画は企画委員会が検討する。

【報告事項】

1. 退会申し出者報告

今井副会長より、資料に基づき、会員の現況報告、会員種別移動、支部移動、長期未納者の会費納入、及び退会申し出者 44 名の報告があった。

2. 支部関係

(1) 関東支部 石井支部長より、11/28 に東京おもちゃ博物館にて見学会及び講演会が開催され、21 名が参加したこと、同日、臨時総会、支部役員会を開催したとの報告があった。

(2) 中部支部 小川支部長理事より、11/28 に若手の会主催のサイエンスカフェが実施され、講師小川支部長理事、参加者は 30 名であったことが報告された。

(3) 関西支部 小野木支部長理事より、講師小野木支部長理事でアンチエージングカフェが開催され、約 20 名の参加者があつたとの報告があった。

(4) 九州支部 鳥飼支部長理事より、3/24 に引継ぎ会を行うとの説明があった。

3. 総務関係

今井副会長より、コアスタッフ会議、役員連絡会、理事会の運営を行ったとの報告があった。

4. 企画・広報関係

大竹副会長より、パンフレットを製作中との報告があった。

5. 編集委員会

佐々井委員長より、62 回大会の研究発表申し込みは 1/28 ～2/18、プログラム委員会は 3/1 であるとの報告があった。

6. HP 委員会

小川委員長より、Q&A が予定通り HP に掲載されている、随時変更・追加するので申し出てほしいとの依頼があった。

7. 国際交流委員会

宮野委員長より、資料に基づき、62 回大会における国際交流公開講演会の内容、国際交流研究基金運営実施要領の作成、ARAHE インド大会の報告及びその報告原稿依頼について報告があった。

8. 生活科学系コンソーシアム

天野理事より、資料に基づき、第 7 回会議が 12/8 に開催されたとの報告があった。

以上